

## 年間活動計画

部活動名	書道部	
部の目指す成績戦績 人物育成、方針など	書道を通して、自らの腕を磨くとともに、集中力・作品創造力を高める。	
	昨年に引き続き、パフォーマンス大会で関東大会に出場する。	
	部員同士の交流を深め、互いに作品を批評する機会を通して切磋琢磨させる。	
年間活動計画 [公式戦・準公式戦] [コンクール・発表]	4月 臨書 基礎練習 半紙 半切	
	5月 臨書 基礎練習 半紙 半切 中間考査に向けて勉強させる。	
	6月 臨書 基礎練習 半切 全紙 文化祭に向けて、出品する作品を決めていく。 期末考査に備えて、	
	7月 基礎練習 文化祭に向けての練習 書道パフォーマンスの準備 期末考査に勉強に取り組みさせる。	
	8月 文化祭に向けての個々の練習・作品づくり 書道パフォーマンスの練習	
	9月 文化祭に向けての作品づくり、	
	10月 パフォーマンスグランプリ準備。中間考査の勉強をさせる。	
	11月 パフォーマンスグランプリに参加する。期末考査に向けて勉強させる。	
	12月 期末考査で学習成果を発揮させる。大会の反省を踏まえ、新たな課題に取り組む。	
	1月 作品制作をしながら、自ら進んで書きたい法帖を見つける。	
	2月 作品制作をしながら、来年度の大会の構想を練る。学年末試験にむけて勉強させる。	
	3月 高校生国際美術展に向けての作品作りを行う。来年度の学習に向け、予習復習をさせる。	

<p><b>週間活動計画</b></p> <p>[平常授業の週]</p> <p>A 活動内容 (練習メニュー等)</p> <p>B 活動延長の必要 (延長の必要理由)</p> <p>C 学習の計画 (具体的勉強方法)</p>	月曜	A 臨書作品制作 (半切サイズ) 15:40~18:00
		B 延長 [不要・必要] 理由: 作品制作のため
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	火曜	A 臨書作品制作 (半切サイズ) 15:40~18:00
		B 延長 [不要・必要] 理由: 作品制作のため
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	水曜	A 臨書作品制作 (半切サイズ) 15:40~18:00
		B 延長 [不要・必要] 理由: 作品制作のため
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	木曜	A 臨書作品制作 (半切サイズ) 15:40~18:00
		B 延長 [不要・必要] 理由: 作品制作のため
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	金曜	A 臨書作品制作 (半切サイズ) 15:40~18:00
		B 延長 [不要・必要] 理由: 作品制作のため
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	土曜 (授業日)	A 活動なし (ただし大会前はあり)
		B 延長 [不要・必要] 理由: なし
		C 家庭学習の時間を最低2時間とらせる。
	土曜 (授業なし)	A 活動なし (ただし大会前はあり)
		B 延長 [不要・必要] 理由: なし
		C 家庭学習の時間を最低3時間とらせる。
	日曜	A 活動なし (ただし大会前はあり)
		B 延長 [不要・必要] 理由: なし
		C 家庭学習の時間を最低3時間とらせる。
部としての 定期考査に向けて 具体的学習計画	3週前	部員一人一人の学習計画を顧問が把握し、苦手科目を中心に事前課題や予習指示を出す。
	2週前	学習計画を顧問がチェックし、部員一人一人の到達度を把握し、苦手科目について個別に学習指導を行う (国社数理英)。
成績不振者の指導		学習計画の見直しを顧問と行い、計画通りに進めていない生徒は部活動への参加を禁止するとともに、個別に学習指導を行う (国社数理英)。